



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日
東

上場会社名 富士石油株式会社 上場取引所
コード番号 5017 URL <https://www.foc.co.jp/>
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山本 重人
問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)鈴木 龍司 (TEL)03(5462)7803
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	319,711	△28.1	12,250	△25.6	13,566	△21.5	11,209	△22.6
2023年3月期第2四半期	444,773	199.1	16,474	—	17,276	—	14,482	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 12,662百万円(△36.1%) 2023年3月期第2四半期 19,807百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	145	27	—	—
2023年3月期第2四半期	187	84	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	394,967	21.1	83,547	21.2	—	—
2023年3月期	336,985	—	71,658	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 83,355百万円 2023年3月期 71,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	—
2024年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	736,800	△13.4	13,600	170.4	14,800	214.6	12,100	238.4	156	81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	78,183,677株	2023年3月期	78,183,677株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,020,910株	2023年3月期	1,020,910株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	77,162,767株	2023年3月期2Q	77,098,645株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるドバイ原油価格は、期初1バレルあたり84ドル台で始まりましたが、4月初旬にOPECプラスの複数の加盟国が合計で日量116万バレルの追加減産を表明し、原油需給の逼迫懸念が台頭したことから、原油相場は上昇しました。その後は欧米の中央銀行による追加利上げや米国地銀の経営破綻に伴う金融システムに対する不安が広がり、景気後退懸念が増大したことから、6月には71ドル台まで下落しました。7月に入ると、サウジアラビアやロシアが自主的な追加減産の実施を表明したことで需給の引締まりが意識され、上昇トレンドを形成しました。9月には、OPECやIEA等が2023年末にかけて世界の原油需給が大幅な供給不足に直面するとの見通しを示したことを受け、原油相場は更に上昇する展開となり、96ドル台で当四半期の取引を終了しました。この結果、期中平均では約82ドルとなりました。

一方、期初1ドル133円台前半で始まった為替相場は、4月の金融政策決定会合において日銀が金融緩和策継続の方針とイールドカーブ・コントロールの維持を決定し、それ以降も方針が維持されていること、一方で米国においては、FOMCによりインフレ抑制のための利上げサイクルの長期化が示唆されたことにより、日米金利差等を背景にドル/円が続伸し、期末は149円台半ばで終了しました。この結果、期中平均は141円台前半となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量は、小規模定期修理を実施したことなどにより、前年同期比803千キロリットル減の3,127千キロリットル、当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、742千キロリットル減の3,276千キロリットルとなりました。

こうした状況のもと、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高は、小規模定期修理に伴う販売数量の減少等により、前年同期比1,250億円減収の3,197億円となりました。損益につきましては、在庫影響（総平均法及び簿価切下げによる棚卸資産の評価が売上原価に与える影響）が90億円の原価押し下げ要因（前年同期は126億円の原価押し下げ要因）と前年同期比で縮小し、営業利益は122億円（前年同期比42億円減益）となりました。経常利益は、持分法による投資利益12億円等を計上したことなどにより、135億円（前年同期比37億円減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は112億円（前年同期比32億円減益）となりました。

なお、当期の在庫影響を除いた実質ベースの損益は、小規模定期修理の影響等により、営業利益相当額は31億円（前年同期比6億円減益）、経常利益相当額は44億円（前年同期比1億円減益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ544億円増加の2,654億円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加236億円、棚卸資産の増加234億円、未収入金の増加117億円であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ34億円増加の1,294億円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加35億円であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ489億円増加の2,754億円となりました。主な要因は、買掛金の増加299億円、未払揮発油税の増加102億円、短期借入金の増加66億円であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ28億円減少の359億円となりました。主な要因は、長期借入金の減少20億円、修繕引当金の減少7億円であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ118億円増加の835億円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加104億円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して3億円増加し、87億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、棚卸資産の増加627億円、売上債権の増加156億円等による支出が、税金等調整前四半期純利益172億円等による収入を上回ったことにより、キャッシュ・フローは327億円の支出となりました。

一方、当第2四半期連結累計期間においても、売上債権の増加236億円、棚卸資産の増加234億円等による支出が、仕入債務の増加299億円、税金等調整前四半期純利益135億円等による収入を上回ったことにより、キャッシュ・フローは13億円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、主に製油所施設等に係る有形固定資産の取得11億円等により、キャッシュ・フローは4億円の支出となりました。なお、これらの投資資金は借入金及び自己資金等により賄いました。

一方、当第2四半期連結累計期間においても、主に製油所施設等に係る有形固定資産の取得13億円により、キャッシュ・フローは16億円の支出となりました。なお、これらの投資資金は借入金及び自己資金等により賄いました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間においては、短期借入金の純増加392億円等による収入により、キャッシュ・フローは345億円の収入となりました。

一方、当第2四半期連結累計期間においても、短期借入金の純増加66億円等による収入により、キャッシュ・フローは31億円の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回予想(2023年5月10日発表)以降の業績の動向等を勘案し、通期の業績予想を修正いたします。

今回の修正見通しの前提として、第3四半期以降のドバイ原油価格は85ドル/バレル(前回予想同80ドル/バレル)、同じく為替レートは145円/ドル(前回予想同130円/ドル)といたしました。

売上高は、通期の業績予想につきましては前回予想比488億円増収の7,368億円となる見通しです。

損益につきましては、原油価格及び為替レートの想定を見直したことによる在庫影響の原価押し下げ効果の拡大を見込んでおり、自家燃料費の増加等から下期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比で減益見込みとなるものの、通期では営業利益136億円(前回予想比60億円増益)、経常利益148億円(同80億円増益)、親会社株主に帰属する当期純利益121億円(同65億円増益)となる見通しです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業利益相当額で1億円(前回予想比43億円減益)、経常利益相当額で13億円(同23億円減益)となる見通しです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,463	13,352
受取手形及び売掛金	69,461	93,148
有価証券	-	200
棚卸資産	119,288	142,709
未収入金	1,929	13,688
その他	7,827	2,369
流動資産合計	210,970	265,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,056	11,813
油槽（純額）	2,651	2,676
機械装置及び運搬具（純額）	29,862	29,584
土地	51,541	51,541
建設仮勘定	1,152	1,743
その他（純額）	590	526
有形固定資産合計	97,855	97,886
無形固定資産		
ソフトウェア	478	434
その他	134	134
無形固定資産合計	612	569
投資その他の資産		
投資有価証券	26,169	29,703
長期貸付金	641	641
退職給付に係る資産	761	739
その他	380	366
貸倒引当金	△407	△407
投資その他の資産合計	27,545	31,043
固定資産合計	126,014	129,499
資産合計	336,985	394,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,792	65,762
短期借入金	130,316	137,003
1年内返済予定の長期借入金	10,949	10,409
未払金	26,402	24,593
未払揮発油税	16,482	26,762
未払法人税等	213	2,072
賞与引当金	336	350
その他	6,052	8,497
流動負債合計	226,545	275,451
固定負債		
長期借入金	19,793	17,739
繰延税金負債	8,854	8,689
特別修繕引当金	2,387	2,585
修繕引当金	5,080	4,371
退職給付に係る負債	1,740	1,795
役員退職慰労引当金	23	24
その他	900	763
固定負債合計	38,780	35,969
負債合計	265,326	311,420
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,467	24,467
資本剰余金	25,495	25,495
利益剰余金	18,653	29,091
自己株式	△1,271	△1,271
株主資本合計	67,345	77,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	1,191
繰延ヘッジ損益	155	△1,436
土地再評価差額金	1	1
為替換算調整勘定	2,571	5,290
退職給付に係る調整累計額	560	524
その他の包括利益累計額合計	4,130	5,572
非支配株主持分	182	191
純資産合計	71,658	83,547
負債純資産合計	336,985	394,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	444,773	319,711
売上原価	425,646	305,061
売上総利益	19,126	14,649
販売費及び一般管理費	2,652	2,399
営業利益	16,474	12,250
営業外収益		
受取利息	15	100
受取配当金	127	51
為替差益	1,511	838
持分法による投資利益	1,614	1,249
タンク賃貸料	108	103
その他	159	203
営業外収益合計	3,537	2,548
営業外費用		
支払利息	2,270	790
タンク賃借料	106	105
その他	359	336
営業外費用合計	2,735	1,232
経常利益	17,276	13,566
特別利益		
固定資産売却益	0	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産除却損	21	5
リース解約損	-	0
特別損失合計	21	5
税金等調整前四半期純利益	17,254	13,570
法人税、住民税及び事業税	2,693	1,822
法人税等調整額	69	526
法人税等合計	2,763	2,349
四半期純利益	14,490	11,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,482	11,209

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	14,490	11,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	349
繰延ヘッジ損益	1,020	△1,592
為替換算調整勘定	853	502
退職給付に係る調整額	△53	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	3,610	2,217
その他の包括利益合計	5,316	1,441
四半期包括利益	19,807	12,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,799	12,650
非支配株主に係る四半期包括利益	8	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,254	13,570
減価償却費	3,878	3,788
修繕引当金の増減額 (△は減少)	1,510	△708
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7	41
特別修繕引当金の増減額 (△は減少)	21	198
受取利息及び受取配当金	△143	△152
支払利息	2,270	790
持分法による投資損益 (△は益)	△1,614	△1,249
為替差損益 (△は益)	△698	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,669	△23,686
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,704	△23,421
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,916	29,969
未払揮発油税の増減額 (△は減少)	13,222	10,280
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,193	△7,734
その他	3,463	△2,807
小計	△30,107	△1,121
利息及び配当金の受取額	389	422
利息の支払額	△2,259	△805
法人税等の支払額	△786	△72
法人税等の還付額	0	258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32,762	△1,318
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,829	△4,504
定期預金の払戻による収入	4,488	4,205
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,142	△1,326
有形固定資産の売却による収入	0	15
無形固定資産の取得による支出	△49	△24
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	92	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439	△1,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	39,239	6,687
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	△3,695	△4,094
配当金の支払額	△772	△770
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△183	△197
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,586	3,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△262	212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,122	384
現金及び現金同等物の期首残高	7,912	8,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,035	8,714

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは石油精製/販売事業のみの単一のセグメントであるため、記載を省略しております。